

空間電荷測定装置 Q-PEA

選定カタログ

2026年08月 VELOCE株式会社

Q-PEA システム比較表

セット名称 機能名称		ベーシック	スタンダード	ハイスペック	恒温槽付 ミドルスペック	恒温槽付 プレミアム
1	上部下部電極ユニット	○※1	○※1	○※1	○※1	○※1
2	アンプ電源	○	○	○	○	○
3	高速パルスジェネレータ	○	○	○	○	○
4	バイアス用高電圧アンプ	○※2	○※2	○※2	○※2	○※2
5	パルス電圧切替スイッチ	○※3	○※3	○※3	○※3	○※3
5	位置決めユニット			○※4	○※4	○※4
6	デジタルオシロスコープ	○※5	○※5	○※5	○※5	○※5
7	アナログ出力ユニット (含D/A変換ボード)			○	○	○
8	オペレート解析ソフト			○	○	○
9	トランジェントプログラム			○		○
10	オートメジャープログラム			○	○	○
11	恒温槽				○	○

※1 上部電極は高さ調整機構要不要：上下電極耐熱50℃もしくは70℃選択

※2 測定サンプルにより希望高電圧・電流・出力正負を選択

※3 測定パルス電圧の変更が必要であれば選択

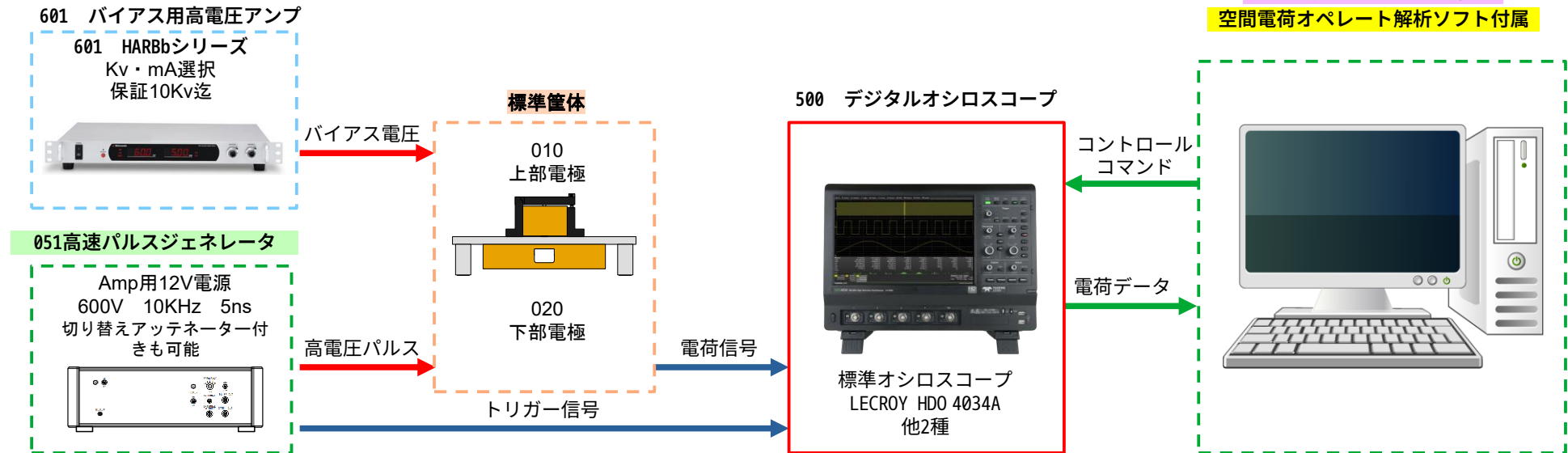
※4 上部電極を同一個所で固定したい場合は選択

※5 測定希望周波数にて選択（トランジェント測定を主とする場合は高速オシロが有利）

抜き差しアッテネーターは、切り替え式に比べ電圧変化毎にリファレンス取得の必要はありませんので、測定電圧が決定している場合はアッテネーターが有利です。

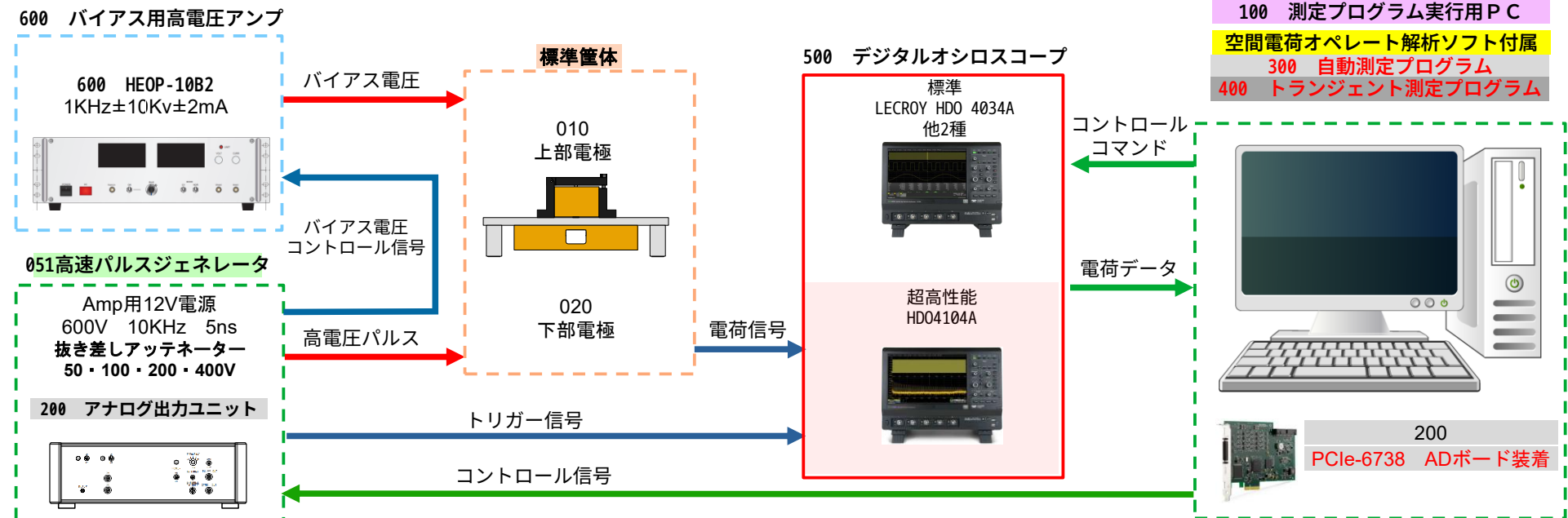
標準セット

100 測定プログラム実行用
空間電荷オペレート解析ソフト付属



トランジェント・オートメジャーセット

100 測定プログラム実行用PC
空間電荷オペレート解析ソフト付属
300 自動測定プログラム
400 トランジェント測定プログラム



	HD04034A ▼	HD04054A ▼	HD04104A ▼	WaveRunner 9054 ▼
垂直軸-アナログチャンネル				
アナログ帯域幅（最大）	350 MHz	500 MHz	1 GHz	500 MHz
帯域幅	350 MHz	500 MHz	1 GHz	500 MHz
アナログ帯域幅@50Ω（-3 dB） （ProBus入力）	350 MHz （≥1mV/ div）	500 MHz （≥1mV/ div）	1 GHz （≥1mV/ div）	500 MHz （≥2mV/ div）
アナログ帯域幅@1MΩ（-3 dB） （ProBus入力）	350 MHz (Typ)	500 MHz (Typ)	500 MHz (Typ)	500 MHz (Typ)
立ち上がり時間（10-90%、50Ω）	1 ns（Typ）	700 ps（Typ）	450 ps（Typ）	700 ps（Typ）
立ち上がり時間（20-80%、50Ω）	750 ps（Typ）	525 ps（Typ）	340 ps（Typ）	480 ps（Typ）
入力チャンネル	4	4	4	4
分解能	12 ビット; 分解能拡張（ERES）で最大 15 ビット	12 ビット; 分解能拡張（ERES）で最大 15 ビット	12 ビット; 分解能拡張（ERES）で最大 15 ビット	8 ビット; 分解能拡張（ERES）で最大 11 ビット

9054は廃番予定